

議会改革・活性化調査特別委員会記録【概要】

- 1 日 時 令和6年4月18日（木曜日）
午後 1時00分 開 会
午後 1時20分 閉 会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員
委員長 伊 藤 優 子 副委員長 神 野 恭 多
委 員 片 平 恵 美 委 員 黒 田 真 徳
委 員 合 田 晋一郎 委 員 伊 藤 嘉 秀
委 員 藤 田 誠 一 委 員 山 本 健十郎
委 員 高 塚 広 義 委 員 伊 藤 謙 司
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のため出席した者 な し
- 6 議会事務局職員出席者 局 長 山 本 知 輝 課 長 徳 永 易 丈
副課長 鴨 田 優 子 係 長 伊 藤 博 徳
係 長 村 上 佳 史
- 7 その他出席議員 議 長 大 條 雅 久
- 8 本日の会議に付した事件 (1) 議会改革・活性化に関する調査

9 概 要

（委員長）本日の委員会は、議会の広報広聴に関することについて、協議をお願いする。本日お越しいただいた市民福祉委員長については、説明員として出席いただいているので、委員長として発言を許可する。

市民との意見交換会について、別紙1を見てほしい。こちらは、令和5年度に実施した意見交換会の開催結果である。令和5年度は、常任委員会ごとに開催することとし、各種団体に出向き、意見交換を行った。意見交換を行う団体、開催場所・日時、テーマ等、詳細内容は各常任委員会において決定した。また、参加者は団体の関係者のみとし、開催報告は、紙の報告書及びYouTubeによる録画配信で行った。

意見交換会で出された意見は、各常任委員会で内容を整理、協議した後、市政に関する提言書として市に提出し、回答をいただいた。

それでは、議会運営委員会に提案する、令和6年度の市民との意見交換会の開催内容の案について、協議をお願いする。まず、各常任委員長から、令和5年度の市民との意見交換会を実施してのよかった点、改善点などを伺いたい。

(企画教育委員長) 企画教育委員会として報告する。企画教育委員会では、今回、帰りたいまち、住みたいまちにはまということで、愛媛県立新居浜東高等学校に伺い、生徒会を中心に9名の生徒と議論をした。進め方としては、あらかじめ生徒たちにテーマに沿った内容で、今の新居浜に求めること、将来の新居浜に求めること、ということでアンケートを取り、それを分類したら三つの分類に分かれた。一つは町のインフラ整備や公共整備の充実についてということと、2番目が中高生が安心して集える居場所づくりについて、3番目が生活空間の改善という三つの結果に分かれたので、それぞれ分類ごとに意見を伺った。高校生の意見としては、若い方の素直な意見を9名が言い、私たち議員として改めてそんなところが新居浜に欲しいのかというふうを考えさせられた部分、それと、新居浜市が長年行政課題としている商店街についてとか、そういったことについても高校生の目としてやはり大きな新居浜の課題だということも教えられることもあった。ということで、今回、私たちが進めた市民との意見交換会については、団体にお伺いをしてということがまず一つあった。高校生の皆と一緒にじかに意見交換を行うというのは、この十年間、議会の市民との意見交換会をやってきて初めてのことでないかと思う。これだけの人数の方に意見を伺うことはなかったのではないかと思うが、素直な意見を教室の中で伺うことができたので非常に良かったと思う。ひとつの場所に設定されたところに高校生が来て意見を言うことになれば、緊張した場面ということになり、なかなか意見を言いづらい生徒もいたのではないかと思う。今回は、当然多少は緊張するが非常にリラックスした中で意見を交換できたのではないかと思う。そういった面で高校生の皆の意見を聞き、提言書に書いた。

(市民福祉委員長) 市民福祉委員会は、子どもを育てやすいまちづくりというテーマにした。少し趣向を変え参加いただいたのは市内の小児科、産婦人科、保育士とか子育てに実際直接関わっているような方々に参加いただく形にした。単なる要望祭りにならないためにも最初に各議員に役割を決めており、今新居浜ですでにしているこども政策の39メニューの説明と、その後どのくらいの予算が使われているのかであったり、実際やるからには予算がかかるということなので財政調整基金とか、新居浜の今の財政の状況みたいなことを議員にも紹介いただくような形で、そこから課題を抽出してから議論に入るという形をとった。

くじ引きで3班に分かれ、テーマが、子どもを育てやすいまちづくりにするためにはということで、皆の思う課題解決策としてアイデア出しを各班で行った。最後は皆で発表をし、提言書にまとめるという流れで行った。内容については公開されているので見ていただきたい。今までは大学の先生に間に入ってもらうファシリテーションで行う形だったが、今回参加者と議員が小グループに分かれて話をしたということが非常に良かった、市議会議員と話す機会はなかなかないので身近に感じた、など友好的な感想をいただいた。それから、これを機に参加した方々がまた集まって、西

糸市も一緒に子育てを応援していく受け皿を作ろうというような動きがあって、今度は市民福祉委員に、誘うので来てくれないか、という交流もその後続いているので、一過性のものにならないように引き継ぎつつ進めていきたい。結果的に良かったと思う。

(経済建設委員長) 今回、経済建設委員会は、建設業協同組合と意見交換を行った。意見交換会を行うにあたり、相手の建設業界の現状を鑑みると行政に対しては様々な要望を持っていることが考えられるため、あまり話が多岐にわたりすぎることのないように、事前に、一つ目防災減災について、二つ目担い手確保について、三つ目新居浜市の未来像について、の三つのテーマについて、業界の現状、要望などを聞かせいただき意見交換を行いたいと申し合わせた。業界の方々には、こちらの意向をくんでいただき会の形式は初めに25分ほど業界の話を聞かせいただいた後に各テーマについて対面でお互いに意見を交わした。会は1月9日に行われたが1月1日におきた能登半島地震を踏まえ、防災減災についても活発な意見交換がおこなわれるなど、業界の取組や困りごとについて貴重な意見交換の場となった。後日、意見交換会について委員の皆に意見を伺ったところ、よかった点については、相手団体側へ出向く方式としたこと、相手団体に充実した資料を用意していただけたこと、相手団体から次回はさらに具体的な内容で実施したいと要望があったこと、聴衆がいるようなステージ上ではなかったため、発言しやすい環境であった、などという意見があった。また、次回への申し合わせとしては、多くの方に映像を見てもらえるように周知するという意見があった。

(委員長) ただいま各常任委員長から意見をいただいたが、その意見を参考にしながら令和6年度の市民との意見交換会の開催内容を協議していただきたい。

まず、開催方式について意見をお願いします。昨年度と同じように、常任委員会ごとに各種団体に出向くとか、また、地域に出向いてはどうか、という意見もあったが、いかがか。

(委員) 個別に団体に出向いたのがとてもいいことだと思う。今年も同じ形がいいと思う。

(委員) 市民との意見交換会については、先々は校区単位でとか、上部・川西・川東とか、そういう形でやったらどうかという話があったと思う。その間に、今のような形でいろいろ取り組みをしてきたこともあるので、わたしは、こういう形もいいが原点に返って、地域だからそういう形で取り組んだらいいと思う。みんなの総意だからそうでなくても構わないが。そういう方向で、最初は取り組んできたと思う。そのことは十分考えてほしい。

(委員) 同じような意見になるが、こちらから出向いて行って懇談するということは、こちらにとっても、相手の方も意見が出しやすいということがよかったと思う。委員会ごとに、事前にアンケートを取って意見交換するとか、グループごとに話し合いをするとか、相手の方から先に話を20分、30分話してもらおうとか、それぞれの委員会で特色のある意見交換会ができて、それぞれがその内容にすごくマッチした形でできたというのがすごく素晴らしいと感じている。委員会ごとにどのような形式でやるとか、どういうテーマで、要望合戦にならないようにということもあったが、そのための工夫なども参考になるところがたくさんあったと思うので、また今年もこのような感じでいろんなやり方ができるという前提で各委員会で協議してやるのがいいのではないかと思います。

(委員) 会派でも話し合ったが、今回現場に足を運んでこちらから話もしに行き、また、小グルー

プでしたほうが、本当に忌憚のない意見交換ができたということで、非常に良かったなという感じがする。地域でという話も若干ですが、とりあえず一回目をしたということで、継続してもう1、2回やって、その後またいろいろ意見を出し合ったらいいと思う。

(委員長) 委員長には大変ご苦勞はかけたと思うが、皆の意見を聴いていると、次の常任委員会で各種団体に出向くとか、地域に出向くとか、いろいろあるが、次の委員会に決めていただくということでよろしいか。

[了 承]

(委員長) どういう感じにするかというのは、次の常任委員会に任せたいと思う。

次に、昨年度は、団体、開催場所・日時、テーマ、詳細内容等は各常任委員会で決定したが、このことにていても各委員会で決めていただくということでよろしいか。

[了 承]

(委員長) 開催日がいつ頃がいいのかというのは、議会運営委員会できめていただきたいと思う。

次に、市民の参加について、昨年度は、参加者は団体の関係者のみとし、一般市民の参加はなしとしていたが、今年度どのようにするか意見を願います。一般市民の参加を有りにするか無しにするか。有りにするなら発言有りにするか傍聴のみとするか、どうするか。

(委員) さっき、常任委員長からも話があったが、観客がいない方が緊張感がなく、フラットでいいので、一般の方は遠慮していただくのがよいと思う。

(委員長) 他にないか。それでは、一般市民の参加はなしでよろしいか。

[了 承]

(委員長) では、一般市民の参加は無しとする。

次に、常任委員会ごとに開催する場合の所属委員以外の議員の参加について、昨年度は特に取り扱いを定めていなかったが、どのように取り扱うか、意見を伺いたい。常任委員会ごとの開催であるので、傍聴のみでの参加を認めるとか、参加は認めないとか意見を願います。

(委員) 傍聴のみでの参加がいい。

(委員長) 傍聴のみでの参加でよろしいか。

[了 承]

(委員長) 議員については、傍聴のみの参加で認めることにする。

次に、開催結果報告について、昨年度は紙の報告書及びYouTubeでの録画配信により行ったが、この方法についてはいかがか。

(委員) 昨年と同じがいい。

(委員長) 昨年と同じでよろしいか。

[了 承]

(委員長) では、昨年と同じとする。

次に、昨年度は、意見交換会で出された意見を各常任委員会で協議した後、市政に関する提言書として市に提出し、回答を求めたが、今年度についてはいかがか。

(委員) 昨年と同じがいい。

(委員長) 昨年と同じでよろしいか。

[了 承]

(委員長) : では、昨年と同じとする。

それでは、本日決定したことは、令和6年度市民との意見交換会の案として議会運営委員会に提案する。

次回の委員会では、市議会だよりの掲載内容、質問時間30分未満についても質問、答弁を掲載するかについて協議をしたい。本日はこれにて閉会する。